

「約束を守らせる」って難しい！

普段の生活の中で、いつまでもテレビを見ていたり、使ったものがそのままお片付けがなかなか出来なかったり・・・。

そんな様子は、どんなお子さまにも見られる様子ですね。

「なんで、言ったとおりに出来ないの?」「また、お約束守れてない」と叱ってしまう事もあります。

でも、これって子どもが立てたルールではありませんよね。

大人が良かれと思って、出来るだろうと思って立てたお約束なんです。

だから、子どもにとっては守られるという気持ちになり、なかなか自分の意思では動けない事があります。

そこで、子どもにルールを決めさせてはいかがでしょう。

例えば、「テレビは8時まで」とか「この箱に使ったおもちゃを入れる」「ゲームは2時間」など、一緒に決めて紙書いて貼っておきましょう。

自分で決めたルールなら、子ども達も守りやすいですし、守れた時には褒めてあげましょう。

また、守れなかったからといって、叱るのではなく「次は守れると信じてるよ」と伝える事が大事です。

結果ではなく、努力を褒めると、自ら約束を守ってくれるようになります。

大五京・大五洋のお子さまの成長目標の30項目の中に「規律遵守」「自己責任」「選択責任」といった項目があります。

まさしく、自分で決めたルールを守るという事は、この成長目標に大きく関わってきます。

ご家庭のちょっとしたやり取りの中にも、国際社会人を育む機会がありますよ。